

川崎市市民 ミュージアム講座 受講生募集

募集期間：
2019年2・3月

参加費
無料



川崎市市民ミュージアムでは毎年、市民の皆さまにミュージアムをより身近に感じていただけるよう、学芸員が館の研究分野や専門領域について分かりやすくご紹介する講座を開催しています。

ご興味に合わせてお気軽にご参加ください。



2月3日(日)

さわって、読んで、学ぶ
近代日本マンガの歴史

講師：新美 琢真

『滑稽新聞 第百六号』（滑稽新聞社）明治 39(1906)年1月1日発行、個人蔵



2月24日(日)

川崎の縄文
～かわさきの歴史の
はじまり～

講師：小薬 一夫

麻生区 谷ツ遺跡出土の縄文土器 当館蔵



3月10日(日)

アール・ヌーヴォー
～ミュシャと日本の
近代デザイン～

講師：誉田 あゆみ

アルフォンス・ミュシャ《第20回サロン・デ・サン展》
1896年、リトグラフ、当館蔵（ミウラコレクション）



3月17日(日)

彫刻家・舟越保武
～まなざしの向こうに～

講師：当館館長・大野 正勝

舟越保武《T嬢》1974年、大理石岩手県立美術館蔵

講座一覽

2月3日(日)

さわって、読んで、学ぶ 近代日本マンガの歴史

講師：新美 琢真

『滑稽新聞 第百六号』(滑稽新聞社)
明治 39(1906)年 1月 1日発行、個人蔵



近代的な日本のマンガの歴史は明治に始まります。それは戦争、災害、流行などの時代的な要因、規制による圧力などの政治的な要因や印刷・製本など技術的な要因……様々な事柄が絡み合って形作られ、発展してきました。本講座では、学芸員が所有している近代マンガ資料のコレクションを直接さわって、読み込んでもらうことにより、本を読むだけでは感じ取れない近代マンガの歴史を体験し、その魅力を知っていただければと考えています。

2月24日(日)

川崎の縄文 ～かわさきの歴史の はじまり～

講師：小栗 一夫

麻生区 谷津遺跡出土の縄文土器 当館蔵



川崎には数多くの縄文時代の痕跡があります。しかし、そのほとんどは現在宅地などの開発によってすでに失われてしまっています。本講座では、改めて 5000 年前の縄文の遺跡を掘り起こし、川崎の歴史のはじまりを紐解いていきたいと思います。

3月10日(日)

アール・ヌーヴォー ～ミュシャと日本の 近代デザイン～

講師：菅田 あゆみ



アルフォンス・ミュシャ《第20回サロン・デ・サン展》
1896年、リトグラフ、当館蔵(ミウラコレクション)

19世紀末から20世紀初頭にかけて西洋美術の流れに一石を投じたアール・ヌーヴォー様式。同時代の日本の芸術家によって積極的に持ち帰られ、作風や表現に大きな影響を及ぼしました。

本講座では、当館所蔵のアルフォンス・ミュシャをはじめとするアール・ヌーヴォーのポスターを中心に、当時のグラフィックデザインの特徴や、そこから影響を受けたと考えられる日本近代デザインの一部をご紹介します。

3月17日(日)

彫刻家・舟越保武 ～まなごしの向こうに～

講師：当館館長・大野 正勝

舟越保武《T嬢》1974年、大理石
岩手県立美術館蔵



静謐な佇まいを見せる数々の女性像。どこか遠いところに向けられたその眼差しの先にあるものはなにか。

石彫による具象彫刻の第一人者・舟越保 (1912-2002) がその生涯をかけて求め続けてきたものを皆さんとともに考えてみたいと思います。

講座概要

講座概要 時間：各日 14:00～15:30 参加費：無料 会場：川崎市市民ミュージアム 3階研修室2
定員：各回 30名 (要事前申込・応募多数の場合抽選) ※12月15日(土) 9:30～受付開始

申込先 川崎市市民ミュージアムのウェブサイト内、イベントページにある申込フォームまたはFAXにてお申し込みください。
HP：<http://www.kawasaki-museum.jp/event/>
FAX：044-754-4533 (講座名・参加日時・名前・フリガナ・住所・電話番号・E-mailアドレス・参加人数)を明記

交通案内



交通案内

「武蔵小杉」駅北口1番乗り場からバスで約10分
「市民ミュージアム前」下車すぐ
※当館に専用駐車場はありません。お車で越えの方は等々力緑地内駐車場(有料)をご利用ください。駐車料金の割引等はございません。

川崎市市民ミュージアム

〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内)
TEL 044-754-4500 FAX 044-754-4533
HP <http://www.kawasaki-museum.jp/>

